

2014 年度 事業報告

1. 概観

2014 年度は、子どもの権利条約が国連で採択されてから 25 年、日本政府が批准して 20 年目となる節目の年でした。シーライツにおいても、カンボジアの事業地でコミュニティセンターが完成し、日本国内で新規事業「チャイルド・ライツ・プロジェクト」が始動するなど、挑戦の年でした。

カンボジア・プロジェクトでは、事業地での子どもの権利の普及と子どもにやさしい地域社会の実現をめざして、これまで以上に子どもたちに寄り添い、地域のキーパーソンと協力して、さまざまな啓発活動に取り組みました。

日本国内では、チャイルド・ライツ・プロジェクトと連動して、子どもの権利条約批准 20 周年記念連続セミナーの企画・運営をユースチーム「Youth for Rights」が担い、子どもの権利普及を実践する若い世代の育成にも力を入れました。

【事業】

継続：

- カンボジアにおける「子どもの人身売買・児童労働防止事業」を引き続き、ベトナムの国境沿いにあるスパイリエン州のタナオ・コミュニン（集合村）で実施。子どもたちが、ベトナムなどに出稼ぎや物乞いに出されることなく学校に通い続けられるよう、地域のおとなと子どもを対象とした啓発活動を行った。

新規：

- タナオ・コミュニンに 4 月にコミュニティセンターを建設。図書室・アクティビティルーム（あわせて「チャイルド・フレンドリー・スペース」）と農業組合の事務所が併設され、地域のすべての子どもたちがチャイルド・フレンドリー・スペースを学びと活動の拠点として活用した。
- 国内事業では、子どもの権利にかかわる活動を行う国際協力・人権 NGO との協働で子どもの権利条約批准 20 周年記念連続セミナーを 5 回実施した他、ユースチーム「Youth for Rights」による内部学習会やイベントの開催を通じ、若者による子どもの権利普及事業を実施しました。

【組織運営】

- 小和瀬陽子があらたに事務局長に着任。（4 月～）
- カンボジア事務所であらたにアシスタントスタッフとしてティダ・ソップを雇用。（5 月～）
- 南雲勇多があらたに理事に着任。（8 月～）
- 認定 NPO 法人の期間満期につき、あらためて申請。（2015 年 4 月に認定が更新された）
- カンボジア外務省、教育省との MOU の更新手続きを申請。（2015 年 4 月に更新された）
- ホームページを見る人にわかりやすく、最新の情報や活動を発信できるよう、リニューアル。
- 大学生を中心としたボランティアメンバーが「Youth for Rights」というユースチームを結成し、イベントや内部学習会を企画・運営。
- Youth for Rights が中心となり、国際協力イベント・グローバルフェスタ 2014（東京/10 月）で、カンボジア料理（春巻き）を販売する飲食ブースを出展。
- 社会起業家（遠藤明子氏）や社会的企業（JAMMIN 合同会社）と連携し、チャリティ商品販売

を通じたファンドレイジングを実施。

2. 開発途上地域の子どもの支援事業

(1) カンボジア・プロジェクト

<目的>

- ・ 子どもたちが「子どもの権利」や人身売買・児童労働の危険についての知識を身につけ、自分自身や周りの子どもたちを危険から守れるようになる。
- ・ 子どもたちが積極的に声を上げたり、意思決定の機会に参加したりすることで、子どもの視点が地域社会に取り入れられるようになる。
- ・ 次世代のリーダーが育成され、子どもたちの活動が地域住民のサポートによって継続されていく。

① スバイリエン州タナオ・コミュニティにおけるベトナムへの出稼ぎによる子どもの人身取引および児童労働防止事業

◇ 主な助成・寄付：WE21 ジャパン、NTT 労働組合西日本本部、サッポロ関連労働組合協議会、浄土宗平和協会ほか。

【概要】

子どもたちが出稼ぎや物乞いに出されることなく学校に通い続けられるよう、①子どもの代表による「ピア・エデュケーション（子どもから子どもへ知識や技術を広める）」、②各村での子どもたちのグループ化、③チャイルド・フレンドリー・スペースの運営、を通して、子どもたちや親、地域住民に対して「子どもの権利」と教育の重要性を伝える啓発活動を推し進める。

・ 啓発活動

タナオ・コミュニティの4つの小・中学校から選出された約50名のピア・エデュケーター（子ども代表）がシーライツの職員からトレーニングを受け、学校や家庭、地域で日常的にピア・エデュケーション活動を実施した。10月と2月には100名を超える子どもたちが村々を行進して子どもたちの声を発信するキャンペーン・マーチを行った。

子ども同士が助け合い、互いに学んだり、地域を良くすることをめざし、タナオ・コミュニティの8カ村で結成した「子どもクラブ」では、地域のゴミ拾いキャンペーンを実施したり、お金を計画的に運用する習慣を子どもの中から身に付けるために貯金グループを結成した。

タナオ・コミュニティのキーパーソン（コミュニティ評議会メンバー、村長、教師、農業組合役員、チャイルド・フレンドリー・スペース運営管理委員）を招いて、子どもたちの状況や教育の重要性について確認し、子どもたちの自主的な活動をどのようにサポートしていくかについてワークショップを実施した。

・ チャイルド・フレンドリー・スペースの運営と子どもの活動

図書室とアクティビティルーム（あわせて「チャイルド・フレンドリー・スペース」）を地域住民が組織した「チャイルド・フレンドリー・スペース運営管理委員会」とシーライツが共同で運営・管理した。委員会メンバーとシーライツの職員は、3回にわたる研修でシャンティ国際ボ

ランティア会（SVA）職員から図書室のマネージメントや読み聞かせなどのスキルについて学んだ。

子どもたちに読書を奨励したり、委員会メンバーやシーライツ職員が子どもたちに読み聞かせを行ったりした。日替わりでお絵描き、折り紙などを教える時間も設けた。

アクティビティルームでは、子どもたちが劇を演じたり討論会を開催したりしたほか、長期休暇の期間には、シーライツの職員が毎日ボランティアでカンボジア語を教え、読み書きができない多くの子どもたちが参加した。

- ネットワーキング

地域住民の農業を通じた収入向上や地域開発を担うために設立された農業組合と連携し、地域住民の生計（貧困）についての情報収集や、貧困家庭の子どものための募金活動を行った。

コンボンロー郡の役所で行われる月例会議に参加し、郡のほかの地域の子どもの状況について情報収集した。

【成果】

- チャイルド・フレンドリー・スペースの完成によって、学校だけでなく、チャイルド・フレンドリー・スペースを拠点にした子どもたちの啓発活動・グループ活動がより活発になった。
- 子どもたちが自由に意見交換やディベート、劇の上演などを行うことで、積極的に自分の意見を発言できるようになったと同時に、まわりの子どもたちの意見や感情、状況にも目を向けられるようになった。また、子どもたちのコミュニケーション能力が高まった。
- 図書室を訪れたり、「子どもクラブ」に参加したりすることで、学校をドロップアウトしてしまった子どもたちが、地域の子どものたちと交流を持てるようになった。そして、シーライツや学校に通う子どもたちのサポートを受け、読み書きや「子どもの権利」などの知識を学ぶことができた。

② モニタリングと子どもの権利のトレーニング

◇ タナオ・コミュニケーション事業のモニタリング

- 2014年8月、甲斐田代表理事と南雲理事がタナオの事業のモニタリングに参加した。
- 同時期、南雲理事は子どものピアエデュケーターに子どもの権利に関するトレーニングを実施した。
- 2015年2月、甲斐田代表理事と学生インターン・橘田美優がモニタリングを行った。甲斐田代表理事は、コンボンロー郡の副郡長に教員がきちんと授業を行うよう働きかけることを要請した。

◇ 過去に建設した学校のモニタリング

- 8月、2010年にスバイリエン州チャントリア郡に建設したプラサー小学校分校において適切に教育活動が行われているかを視察した。夏休み中であったが、学校に集まった校長先生や児童から、学校や家庭での生活の様子をヒアリングをし、子どもの権利を教えることができた。校長先生からは児童数が増えたのに、政府から十分な教科書が支給されていないことや教室が不足していることが報告された。絵本もまったくない状況だったため、子どもたちが読む楽しさを覚え、学力を高めることができるよう、絵本を贈呈した。

(2) シーライツトレード・プロジェクト

【売上】

2014 年度売上 59,850 円

主な販売実績

日付	内容	場所	売上
10/4-5	グローバルフェスタ JAPAN2014	日比谷公園	26,550 円
通年	その他イベント、ニュースレター、HP		36,000 円

【仕入】

シーライツ・パートナーNGO である、アフエシップ・フェアファッション、フレンズで生産・販売されている商品のほか、カンボジアの女性や障がい者を支援する NGO が制作・販売する商品を購入。

3. 開発途上地域の子どもの権利状況に関する調査・研究・発信事業及び開発教育事業

(1) 報告会・ワークショップ開催

①報告会・ワークショップ等

日付	名称	会場	参加人数
12/6 (土)	チャリティイベント「ジャスミンの香りがつなぐ、子どもの笑顔」遠藤明子氏と甲斐田代表理事の対談とピアノ演奏、オーガニックの軽食	文京学院大学	70 名

②講師派遣

日付	名称	講師・報告者	主催
4/19 (土)	シーライツの紹介とカンボジアの子どもたちについて	甲斐田代表理事	ローズマリア(江戸川区)
6/7 (土)	～カンボジアの人々と共に～ 人身売買/児童労働から子どもたちを守る シーライツの活動	甲斐田代表理事	WE21 ジャパン 厚木(神奈川県)
9/18 (木)	カンボジアでのベトナムへの出稼ぎによる 子どもの人身売買 及び 児童労働防止 プロジェクトの現状	甲斐田代表理事	WE21 ジャパン 海老名(神奈川県)
10/2 (木)	報告・学習会「カンボジアの子どもたちに 笑顔を」～カンボジアの貧困とシーライ ツの活動～	甲斐田代表理事	WE21 ジャパンこう ほく(神奈川県)
11/6 (木)	子どもの権利とその実態～スバイリエン 州タナオ・コミュニケーションから見えてくるもの	甲斐田代表理事	尚絅学院大学
2/24 (火)	カンボジア「子どもの人身売買・児童労働 防止プロジェクト」報告会	甲斐田代表理事	WE21 ジャパン・各 地域合同(神奈川県)
2/27 (金)	カンボジア「子どもの人身売買・児童労働 防止プロジェクト」報告会	甲斐田代表理事	WE21 ジャパン 旭(神奈川県)
3/25 (水)	「子どもの権利と子どもの性的搾取」	渡邊理事	さいたま市ガールス カウト連絡協議会

③訪問受入れ

日付	団体・学校名	対応者	内容
8/29 (金)	文京学院大学フィールドワー ク実践クラス 合計 14 名	カンボジア ペン・ブントゥーン	カンボジアにおける活動 タナオ・コミュニケーション訪問

12/1（月） 12/2（火）	NTT 労働組合西日本本部 合計 11 名	カンボジア ペン・ブントゥーン	カンボジアにおける活動 タナオ・コミュニケーション訪問
2/3（火） 2/4（水）	WE21 ジャパン 合計 8 名	カンボジア ペン・ブントゥーン	カンボジアにおける活動 タナオ・コミュニケーション訪問
2/4（水）	東京女学館中学校 生徒 合計 4 名	ユースチーム Youth for Rights	「子どもの権利」ワークシ ョップ リーフレット制作

(2) 広報

①会報

プロジェクトや活動の状況の報告、子どもの権利を普及する目的で、会報 85、86、87 号を平均 400 部発行し、会員、寄付者、関係者などに配布した。

②インターネットを通じた情報発信、ブログ

ホームページをリニューアル。これまでよりデザインやレイアウトをシンプルにし、知りたい情報にアクセスしやすくなった。更新作業も以前より簡単になり、新しい情報を発信しやすくなった。

HPのブログ、メルマガ、ツイッター、フェイスブックなど、ソーシャルメディアネットワークを通して最新情報を発信し、これによるイベントの参加を促進した。

(3) 出版・制作

これまでに出版した書籍などをイベントのブース出展時やウェブサイト上で販売した。

(4) スタディツアー

期間	2015年2月10日（火）～2月16日（月） 5泊7日 9名
訪問内容	カンボジア（スパイリエン、プノンペン、シエムリアップ） シーライツ事業地視察、現地パートナーNGOの訪問、プロジェクトの視察、観光

ツアー報告を会報（88号）に掲載予定。

4. 国連子どもの権利条約の普及事業、及び子どもの権利促進事業

(1) チャイルド・ライツ・プロジェクト

「子どもの権利」や子どもを取り巻く社会の課題を国内で広め、協力者や支援者を拡大する、またこの活動を担う若い世代を育成するための「チャイルド・ライツ・プロジェクト」を開始した。

具体的には、大学生を中心としたボランティアメンバーが「Youth for Rights」というユースチームを結成し、「子どもの権利条約批准 20 周年記念連続セミナー」を 5 回開催した。また「子どもの権利」について理解を深めるための内部学習会も 7 回開催した。

日付	名称	会場	参加人数
4/26（土）	子どもの権利条約批准 20 周年記念連続セミナー 第 1 回「子どもに対する国際協力を改めて考えてみよう～あなたの支援は子どもたちに本当に役立っていますか？」ファシリテーター：南雲理事、甲斐田代表理事	早稲田奉仕園	32 名
6/1（日）	子どもの権利条約批准 20 周年記念連続セミナー 第 2 回「カンボジアの子どもの人身取引—子どもの権利をどう活かせるか」講師：中村敏久氏（ワールドビジョン アドボカシー担当）、ファシリテーター：南雲理事、甲斐田代表理事	JICA 地球ひろば	40 名

9/21（日）	子どもの権利条約批准 20 周年記念連続セミナー 第 3 回「女の子の権利を考える～結婚させられ奪われるものは？」講師：奈良崎文乃氏（プランジ ャパン 開発教育シニアオフィサー）、ファシリテ ーター：南雲理事、甲斐田代表理事	JICA 地球ひろば	30 名
12/14（日）	子どもの権利条約批准 20 周年記念連続セミナー 第 4 回「子どもの権利とビジネス」講師：堀江由 美子氏（セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン アド ボカシーマネージャー）、ファシリテーター：南雲 理事、甲斐田代表理事	アカデミー茗荷	24 名
1/31（土）	子どもの権利条約批准 20 周年記念連続セミナー 第 5 回「子どもの家庭で暮らす権利を守る ～報告 書『夢がもてない』の意味は？」講師：土井香苗 氏（ヒューマン・ライツ・ウォッチ日本代表）、フ ァシリテーター：甲斐田代表理事	JICA 地球ひろば	30 名

（2）子どもの権利条約批准 20 周年のキャンペーン

子どもの権利条約フォーラムの運営委員として、子どもの権利条約批准 20 周年のキャンペーンに実行員として登録。東京では「子どもの権利条約フォーラム 2014」に、大阪では「関西子どもの権利条約フォーラム 2014」に参加した。また、子どもにかかわるほかの団体と協働し、“子どもにとって、子どもの権利が保障されている関西”の実現にむけた提言づくりに参加し、当日発信した。

日付	名称	参加人数
11/9（日）	関西子どもの権利条約フォーラム 2014	138 名
11/9（日）	関西子どもの権利条約フォーラム 2014 分科会「子どもへの暴力は NO!!」（コーディネーター：藤井理事）	23 名
11/16（日）	子どもの権利条約フォーラム 2014	のべ 156 名

5. 国際・国内団体とのネットワーク事業

（1）国際・国内団体とのネットワーク事業

参加ネットワーク団体

- ・(特活)国際協力 NGO センター（JANIC）の正会員を継続
- ・児童労働ネットワークの団体正会員を継続
- ・子どもの権利条約フォーラム 2014 実行委員会
- ・カンボジア市民フォーラムの会員を継続（甲斐田代表理事が共同代表として）
- ・東日本大震災子ども支援ネットワーク継続（運営委員として）
- ・人身売買禁止ネットワーク（JNATIP）の会員を継続
- ・アジア子どもの権利フォーラムの運営と参加

（2）関係団体とのネットワーキング

日付	内容
4/17（木）	ポスト 2015 に関する NGO・外務省意見交換会
6/1（日）	「カンボジアのこどもの人身取引」ー子どもの権利をどう活かせるかーを主催 ※ストップ児童労働キャンペーン賛同イベント/JICA 地球ひろば
6/5（日）	「めっちゃ学校行きたいねん！御堂筋ウォーク 2014」への参加 ※ストップ児童労働キャンペーン賛同イベント/御堂筋（大阪）

その他、依頼や要請に随時対応。

(3) 第3回アジア子どもの権利フォーラム

2014年8月23-24日、モンゴルで開かれた第3回アジア子どもの権利フォーラムに、甲斐田代表理事、南雲理事、学生インターン・橘田が参加し、甲斐田理事は第1セッションの進行役をつとめるほか、インドとカンボジアで子どもの権利に基づく活動をする NGO（CWC と LSCW）の調整役を担った。このアジア子どもの権利フォーラムは、アジア地域で子どもの権利保障を進めるためにネットワークを構築することを目的としている。

6. その他、この団体の目的を達成するために必要な事業

(1) 4回理事会を開催し、理事会メーリングリストで月平均13回協議・情報交換を行った。

4/27 (日)	第37回理事会 開催場所：東京事務所 議題：カンボジア事業、東京事務所体制ほか
6/1 (日)	第38回理事会 開催場所：東京ウィメンズプラザ 議題：事務局長任命ほか
11/9 (日)	第39回理事会 開催場所：東京事務所 議題：資金調達ほか
2/22 (日)	第40回理事会 開催場所：東京事務所 議題：職員採用、事業計画ほか

(2) 各事務所の組織運営

東京事務所	会計総務のスタッフと広報スタッフが事務作業（会員管理、会計、問合せ対応、助成金申請、総務労務、広報、シーライツトレード事業等）を分担。
カンボジア事務所	カンボジア人スタッフ2名で業務を遂行。

(3) 資金調達

①助成金

[採択]

団体名・助成金名	金額	助成内容
WE21 ジャパン各支部	166万円	カンボジア事業(スバイリエン州/出稼ぎによる子どもの人身取引・児童労働防止事業)
浄土宗平和協会・平和念仏募金による NGO 支援助成	60万円	カンボジア事業(スバイリエン州/出稼ぎによる子どもの人身取引・児童労働防止事業)

[不採択]

団体名	申請内容
外務省 (JOCA 委託)	NGO インターンプログラム

②団体大口寄付 (10万円以上)

寄付者	金額	指定寄付内容
尚綱学院大学	250,000円	カンボジア事業(スバイリエン州/出稼ぎによる子どもの人身取引・児童労働防止事業)
サッポロ関連労働組合協議会	149,675円	カンボジア事業(スバイリエン州/出稼ぎによる子どもの人身取引・児童労働防止事業)
WE21 ジャパンこうほく	144,813円	カンボジア事業(スバイリエン州/出稼ぎによる子どもの人身取引・児童労働防止事業)
NTT 労働組合西日本本部	500,000円	カンボジア事業(スバイリエン州/出稼ぎによる子どもの人身取引・児童労働防止事業)

③会員

2014 年度会員総数 個人会員 105 名+団体会員 1
内訳

正会員合計 (前年比)	一般正会員	学生正会員	子ども正会員	
47 (9%減)	47	0	0	
賛助会員合計 (前年比)	一般賛助会員	学生賛助会員	子ども賛助会員	団体賛助会員* (口数)
59 (1%増)	51	7	0	1 (1口)

- ・正会員、賛助会員ともにほぼ横ばい
- ・団体賛助（法人）会員は、特定非営利活動法人アユース仏教国際協力ネットワーク
- ・2010 年 4 月より開始した会費の口座振替制度（年 1 回 4 月振替）。3 月末時点で登録者は 35 名。

④マンスリーサポーター

2008 年に開始した毎月一口 1,000 円からの寄付金制度。3 月末時点で登録者は 99 名。目標の 150 名には届かなかった。

⑤ファンドレイジング

学生インターン・橘田が中心となり、ソーシャル・ウェア・ブランドの JAMMIN 合同会社と協力して企画・デザインしたチャリティ T シャツなど 122 点をオンラインで販売。売上の一部として合計 85,400 円のチャリティを獲得した。

⑥社会起業家との連携

遠藤明子氏のパーソナルケアプロダクト「La Lumpini」の商品の売上の一部として 81,179 円がシーライツに寄付された。（株式会社レイジー・スーザン／グリーンスタンプ株式会社 協力）

(4) 理事・職員研修・危機管理

「セクシュアルハラスメント等を含む人権侵害防止および対策に関する規定」に基づいて理事・事務所職員に対するセクシュアルハラスメント防止の研修（講師：丹羽雅代氏）を実施。

以上